

会報 No.297

キャリア・コンサルタント

2019年（令和元年）9月10日

© キャリア・コンサルタント協同組合

[発行] キャリア・コンサルタント協同組合
発行責任者：渡邊 健三
〒102-0052 東京都千代田区神田小川町 1-8-3
小川町北ビル 8F
Tel: 03-3256-4167（代表）
直通電話：営業本部 03-6821-7544
外実事業部 03-6826-7789
Fax: 03-3256-4168

E-mail：[会報編集部] henshu@ccco.jp
[事務局] jimukyoku@ccco.jp
[営業本部] eigyo@ccco.jp

URL： <http://www.occ.or.jp>
<http://www.ccco.jp>

編集長：田中 努
編集者：平松靖弘 影山和子 大野長壽

1. JR で初めて感心したこと

組合員 中野 忠

2. 真夏の温泉と美術館

理事長 渡邊 健三

3. 夏休みの話題

理事 田中 努

4. 事務局だより

事務局長 平松 靖弘

一粒万倍

1. JR で初めて感心したこと

組合員 中野 忠

1. JR の民営化

昭和 62 年 4 月、国鉄が民営化され各地域ごとの JR 6 社と JR 貨物が誕生した。私はこうした公共機関の民営化には疑問を感じていた。多くの過疎地を抱える JR 北海道と、ドル箱の東海道新幹線を受け持つ JR 東海とでは、どんな対策を講じても経営力に差が出るのは明白である。事実民営化されてから 30 年以上たった現在、第三セクターに移行された線はあるものの、JR 東海や JR 東日本で廃止された線が殆んどないのに対して、JR 北海道は多くの線が廃止され、今後も廃止の危機にある線が存在しているのは周知のとおりである。それでも私が全国鉄道旅行を始めた昭和 63 年に北海道を訪れた際、少なからず努力を感じたことがある。それまで長い客車を走らせていた名残りで長いホームが残っていたが、車両は 1 両か 2 両で駅舎もコンパクトになり、多くの駅が無人駅になっていた。それでも、結果採算の合わない線はどんどん廃止されていった。この時、すでに多くの線が廃止されていたが、私がこの年以降に乗車した線で、名寄本線、天北線、池北線、江差線その他、留萌本線（留萌 - 増毛）、石勝線（新夕張 - 夕張）の一部路線が廃止されている。公共機関であるから、過疎地でも大事な足であることを考えれば採算を度外視した運営も必要であるというのが私の持論である。

話は別問題であるが、このあと民営化された郵政などもっとひどいものである。最近問題になったかんぽ生命などはひどいものである。私は、もともと生命保険は本当のプロである日本生命や第一生命などの保険会社しか信用していなかったが、かんぽ生命があんなひどい会社になっていたのには、思っていた以上にびっくりしている。

2. JR への不満

そもそも、JR が民営化された時点で、それまでの国鉄の赤字が引き継がれないまま発足したところに問題がある。私が常に感じているのは、JR は顧客にたいして、本当のサービスをしていないことです。昔風のことばでいえば「親方日

の丸」の風潮が残ったままの形だけのサービスをしているのです。その顕著な例が事故が起きたときの対応である。車両故障やポイント故障等が起きたときに、決して故障とは云わずに、「ただいま車両点検中です」とか「ポイント不具合のため」とか故障とういことばを決して使わない。そもそも車両点検は運行開始前に行うもの。故障が起きたから走れなくなりそのための点検なのだから、はっきり「故障」と云ってもらった方が乗客も納得するのである。もっとひどいのは「人身事故」である。人身事故は JR のせいではないという考え方で対応している。なかなか正常には戻らずに、半日たっても遅れの理由を人身事故のせいに行っている。その点私鉄の方が、回復の仕方がはるかに早い。詳しくはわからないが、人身事故に対する対応のしかたが、全く違うようである。

もう一つ不満に感じるのが、朝のラッシュ時に対する電車の遅れである。上記のケースは理由がはっきりしているから、仕方ないと思うが、ラッシュ時の遅れを平気で「朝の通勤混雑時で遅れています」という理由だ。平日の 7~8 時頃は毎日ラッシュの時間帯であるから、早朝時や日中より乗り降りに時間を要するのは当然のことなのに、何故か毎日遅れが生じている。私が通常利用する中野からの中央総武各駅停車の始発電車は、7 時台はあまり遅れていないが、8 時台後半あたりから千葉方面からの電車遅れのとぼちり毎日 10 分(ひどい時は 30 分も)程度遅れがでてくる。それがいつも理由が「朝の通勤時の混雑」である。ダイヤを組む時に乗り換え時間を考慮していれば起きないはずである。

不満を言えば切りがないが、今一つ言わせてもらえば、一部特急電車のオール指定席化である。数年前から常磐線の「ひたち」「ときわ」に自由席がなくなりすべて指定席となった。そして今年の 3 月の改正で中央線の「あずさ」「かいじ」もすべて指定席化された。その直前中央線の通勤電車の案内で「今度のダイヤ改正で新たなサービスが始まります。中央線の特急はすべて指定席化され安心して乗れるようになります」というアナウンスがあった。これがサービスと云えるだろうか。今までなら、仕事の都合で 5 分前に到着した場合、特急券を買わずにすぐに自由席に乗れた。時間にゆとりがあれば窓口で指定席を買うという選択ができたが、今度の場合それができなくなってしまった。しかも時間がなく特急券を買わないまま乗った場合、通常料金より割増し料金を取られた上、空いている席に座ったとしてもその後に指定席券を持っている人がきたら譲らなければならないのである。JR はサービスの根本をわかっていない証拠である。

不満のことは、この辺で終わることにする。

3. 初めて JR に感心したこと

8月29日、30日仕事で名古屋に行く。その前日にたまたま私的な会合が名古屋であって、28日東京10時33分発「ひかり509号」の切符を買っておいた。名古屋に行くのに何故「のぞみ」でなくて「ひかり」なのか。65歳になるとJRのジパング倶楽部に入れば乗車券等が3割引で乗れることができるが、新幹線に関しては「のぞみ」は対象外で「ひかり」「こだま」のみ割引となる。この場合、グリーン車も3割引になるので、この時もグリーン車を利用。「のぞみ」はすべて新横浜の次が名古屋なのに対して、「ひかり」は1駅～3駅に停車するため、2駅、3駅停車の「ひかり」はその停車駅で「のぞみ」に抜かれる。ところが、毎時33分発の「ひかり」は1本おきに小田原と豊橋の1駅にしか停まらないため、名古屋までは抜かれないので、とても便利である（名古屋以降各駅に停車のためそこで抜かれる）。

私は、いつも余裕をもっては早めに東京駅に着くようにしているので、この日も9時45分ころに東京駅に着く。着くとすぐ新幹線乗り場の方に行って、運行状況を見る。ところが、この日は次に発車予定の9時30分発の「のぞみ」がまだ発車していなかった。何故だと思ったところ、静岡県内で落雷による停電で新幹線が止まっているとの表示。これは困ったと思っていたら、ほどなく解除され順次動くとの情報。発車案内板には6車分の案内が表示されているが、それぞれ5分から15分遅れの表示。こういう事故が起きた場合、都内の電車であればほとんど遅れていくのが常なので、へたをすれば1時間以上遅れることも覚悟していた。しかし、この時は本当に5分から15分遅れ程度で順次動いていく。ただ一つ不安だったのが、4つめ位から発車番線のホームが未定になっていたこと。どうやら、通常の運行ではなかったもので、到着車両の都合で決めていたようだ。ほどなく私の乗車予定の10時33分発「ひかり509号」の発車番線も決まり、19番線へ。結果、この電車は15分遅れで発車。発車後も運行は極めて順調で、結果名古屋へは3分縮めて12分遅れで到着。通常の通勤電車と違い、東海道という大動脈を走る新幹線だからか。台風などでも先日山陽新幹線は1日計画運休したが、東海道新幹線は多少の運休はあったが、極力走らせているのはすごいと思う。今回も分刻みで運行している新幹線でありながら、遅れを伸ばさないように、順次運行し、走行中も殆んど順調に走らせた今回の出来事はただただ感心するばかりであった。

2. 真夏の温泉と美術館

理事長 渡邊 健三

思い立って四万温泉に行ってきた。昔々行ったが、その時の印象は道が狭くて車のすれ違いが大変で静かな温泉場だった記憶があり、温泉は湯量が豊富でよかった印象が強く残っている。確認旅行でもある。

今回、車で関越道を走り、渋川伊香保 IC で下りた。大きな渋滞はなく割とスムーズに到着することができた。宿に入るにはまだ早いので、狭い道を上り、重要文化財の「日向見薬師堂」を見学し、すぐそばにある四万温泉発祥の湯に併設されている足湯にちょっとだけ足を入れたが、熱いこと熱いこと。そこから奥四万湖に行き、さらにしゃくなげの滝まで足を延ばした。しゃくなげの滝は水量豊富で圧巻であった。下界と比べれば5度以上低く、27～28度くらいであった。奥四万湖は水量を調節するダム湖であり堰堤を300メートルくらい行けば向こう側に着くというこじんまりしたダムである。カップル、子供連れが多い。

そこから四万温泉に戻ったが、温泉旅館は昔からの温泉場という感じで、狭い土地にひしめくように旅館が建っている。しかし、昔と違って、射的場、バー、飲み屋などはなくなってしまい、面影は結構残っていた。

温泉は無色透明で源泉かけ流しである。貸し切りの湯もあり、今回は温泉三昧であった。肩こり、疲れが一気に取れた感じであった。温泉はいいな。夕食は芋焼酎をたらふく飲んで、一休みしてまた温泉。出てからまた酒。また温泉につきり、深夜、就寝。

帰りに渋川の落合築で鮎づくしもいいと思ったが、美術館に行っている時間が無くなってしまいうのでやめて、遠回りであるが、富弘美術館に立ち寄り、絵の鑑賞をしてきた。星野富弘さんは良く知らなかったが、少し上の年代だが、ほぼ同世代の人。昭和21年生まれの人で、群馬大学を卒業して体育の教師になったが、教師になったその年に、器械体操の練習中に鉄棒から落下し、歩けなくなった。長い闘病生活の中で、口で絵筆を咥えて水彩画を描くことを始めた人である。登山と器械体操が好きで、若かりし頃の自分と少し共通している点があり、関心を持った。母親の支援が大きかったと思う。母は偉大なり。

花、鳥、猫の水彩画が優しいタッチで描かれていて、そこに詩が添えられている。詩はたぶん後から書いたものだと思われるが、感性が鋭く見る人にぐっと入ってくるものがある。

皆さんも絵に関心があればぜひ訪れてほしいところ。きっと何かを感じると思う。

富弘美術館 群馬県みどり市東町草木86

3. 夏休みの話題

理事 田中 努

今年（令和元年）の事務局の夏休みは暦の関係上9日間と長かった。私事であるが「ガラケー」から「スマホ」に変えるという、一大事に遭遇した。100ヶ月に亘って愛用していたケイタイを手放すのは、娘が遠くに嫁いで行くのと同じ寂しさを感じた。その切っ掛けは父の日に娘から送られた「スマート ウオッチ」はスマホがないと使い物にならないこと、既に、家内が利用していたことや、子供や孫たちから時代遅れであると罵られ、家族間「LINE」の外に置かれ、集まりや食事会の相談や連絡に取り残されてしまっていた。

そこで意を決し、すでに、色々と加入しているイツコム（ケーブルテレビ局）のa uショップへ相談に出かけた。そこで「簡単スマホ」を進められパンフレットなどを貰って来た。その時80歳以上の方は契約の時にはご家族の同伴をお願いしますと言われた。同伴不能の時は電話で家族の方と連絡を取らせて頂きますとまで言われてしまった。家に帰って帰省していた娘夫婦と相談して、薦められたスマホより少し程度が高いが、本体の価格が安いものが良いとの結論に達した。

後日、娘夫婦を煩わして同行を依頼し、予約を入れ、a uショップへと、向かった。ガラケー（3G）からスマホ（4G）への交換、老人の購入、たまっていたポイント、イツコムのキャッシュバック等々の割引を含めて5万円ほどの価格の物が約6千円で手に入れることが出来た。予約を入れておいたお陰で、正味1時間ほどで契約を含めすべての手続きが完了した。但し、説明は娘夫妻に向かって行われていた。

新しいスマホを手にて自宅に戻ってからが大変であった。家族間のLINEに入れられ、それも2種類あり、使い道の分からないまま、いろいろとインストールされ、触るたびにあちこちに飛んでしまい、LINEのメールも打てないままで、一日が終わってしまった。孫たちからはLINEに加入したため、さっそく連絡が入ってくるが、返事が打てない間に、LINEに慣れましたかななどとメールが来るのであった。

その後、手の動きや使い方は子供たちの世代より、孫の世代の方がより慣れて、使いこなしているのが分かった。小生と言えば、2、3日はただ、いじくっていただけであり、一週間がたってやっと目的のものを探し出すことが何とか出来るようになった。触っていると有料なものに行き着き、慌てて取り消したり、その削除の方法すら分からず苦勞している、今日この頃である。事務所で自分より若い人に聞けば「そのうち慣れるよ！」と言われる。

「昭和の時代は遠くになりにはけり」である。

4. 事務局だより

事務局長 平松 靖弘

●東京商工会議所から「生活習慣病健診及び定期健康診断のご案内」が届きました。慌ただしい生活に追われ忘れがちな健康管理、自分の健康を見直すチャンスです。普段医者に掛かっておらず、本人は元気な年寄りと思っている方こそ、検診の必要があると思われます。事務所に席のある方はその案内を回覧します。それ以外の方は事務局の平松迄ご連絡下さい。

●CCK「研修の集いは9月17日（火）16：00より組合監事、個人情報保護管理者、下斗米裕英氏」によるPマーク取得推進とPマークの理解について具体的推進項目について説明があります。組合のPマーク新規申請をしたことを中心にお話があります。組合員・賛助会員は時間の許す限りご参加下さい。尚、今回はアルコール抜きで行ないます。

●9月の行事等の予定

- 10日（火）運営会議（10：30）
- 11日（水）営業担当者会議（10：30）、異業種交流会（19：00）
- 17日（火）CCK理事会（13：00）、研修の集い（16：00 Pマーク）
- 18日（水）営業担当者会議（10：30）
- 20日（金）ドラッカー学会（18：00）
- 25日（水）営業担当者会議（10：30）
- 28日（土）BC直前特訓 労務3（10：00）
- 29日（日）BC直前特訓 労務3（10：00）

●10月の行事等の予定

- 2日（水）事業部長会議（10：30）
- 4日（金）セミナー研修部会(14:00)
- 8日（火）運営会議（10：30）
- 9日（水）営業担当者会議（10：30）、異業種交流会(19:00)
- 15日（火）CCK理事会（13：00）、研修の集い（16：00）
- 16日（水）営業担当者会議（10：30）
- 18日（金）ドラッカー学会（18：00）
- 20日（日）BCセミナー(10:00)
- 23日（水）営業担当者会議（10：30）
- 24日（木）BCセミナー(10:00)
- 25日（金）BCセミナー(10:00)
- 26日（土）BCセミナー(10:00)
- 27日（日）荻窪研究会（14：00）
- 30日（水）営業担当者会議（10：30）

一粒万倍

▲私事ですが朝 6:25 からの「テレビ体操」をしていると、リビングの窓から斜め向かいの家の「ハナミズキ（花水木）」が嫌でも目に入る。この樹木は季節を先取りし四季の変化を伝えてくれる。春は白い花が咲き、夏は青葉が茂り、秋になると葉が色づき、冬になると裸になる。それがいつでも季節より先行し、その移ろいを肌で感じさせてくれる。今年もすでに 8 月末には周りの緑よりも早く紅葉を始め秋の気配を漂わせていたが、9 月 8 日の台風 15 号でほとんど裸になってしまいました。

▲米中関係・日韓関係が不穏な空気に晒されています。現代では大きな戦争は起きないと思いますが、地域的な紛争は人類が存在する限り堪えることは無いでしょう。しかし上記の関係が拗れて来ると、政治・経済にも大きな影響が出て来ることに危惧を覚えて来ます。9 月 11 日に韓国は WTO に提訴しました。安倍新内閣で如何に対応するのかが気に掛かります。また、日口の北方領土の返還問題も進展がないようです。

▲安倍総理がまたまた内閣の改造と自民党役員の変更を行いました。首相の在任期間は佐藤内閣を抜いて、戦後最長となり、戦前から見ても桂内閣を 11 月には超えるとのこと。今回の第四次再改造では外務大臣が誰になるのか注目していましたが、茂木敏充が経済産業大臣から外務大臣へ、河野太郎外務大臣が防衛大臣へと横滑りしました。その他小泉進次郎が環境大臣へと初入閣しました。野党は相変わらずお友達内閣とか在庫整理とか同じことを言っています。

▲先日、ゴルフの帰り道久しぶりに、裏街道のさらに裏道を走ってみた。街灯もなく、細くくねくねしているが、信号が全く無い道路である。おそらく街道より所要時間は短縮されたと思っている。しかしかなりの頻度で車と遭遇するが、十字路や T 字路ではお互いに早めの譲り合いを行い、スムーズに走ることが出来た。とばす車も煽りもなく、信号もなく、踏切での待ち時間もなく、時間どおりに走れた。運転者同士は、知り合いも多く、譲り合うことで事故を起こさず、過疎化と高齢化が進む地方の良さを実感した。